授業科目	子ども音楽療育演習					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	山路　麻佳						
授業概要	障がいのあるこどもと豊かな人間関係を築いて、集団保育の中で、個を生かす音楽療育を実現する専門性を学ぶ。療育的音楽活動（音・音楽を聴く活動、身体活動、楽器活動、歌・発声の活動）の具体的な方法を学び、障がいのあるこどもとの豊かな音楽体験を積み重ねる手立てを身につける。 特別支援学校などで実務経験がある専門性をもった外部講師を招き、こども音楽療育の視点に立って、音楽の拡がりを生かして自己表現やコミュニケーションを促す音楽活動について学ぶ。						
授業形態	演習			授業方法	グループワーク		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１療育的音楽活動について学び、活動の流れを組み立てることができる。 ２調査票を作成しこどもの実態把握をしたのち個別の目標に沿った活動を考えることができる。 ３既習曲を使ってこどもとの音楽的なやり取りをし、発達を援助する。
理想的レベル	１　療育的音楽活動の流れを進める中で、臨機応変にこどもの　反応を感じ取り臨機応変に音楽で応じることができる。 ２　こどもの実態把握に音楽的な配慮を施し、集団と個人の両方の動きに応じた活動を考えることができる。 ３　既習曲に自分なりの工夫を加え、達成感の持てる見通しを　　持った音楽活動を実施することができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	70%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21324J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
授業内容をまとめて理解を深める。	1

授業計画

第１回	テーマ：オリエンテーション ユニバーサルデザインの音楽とは何かについて学ぶ。
第２回	テーマ：音楽とコミュニケーション ユニバーサルデザインの７原則を音楽的な見方で検証する。音楽ワークショップの仕組みを学ぶ。（外部講師）

第 3 回	テーマ：リズムの力・心の発達 障がいのある子どもへの配慮がなされた楽器について解説し、それらの楽器を実際に演奏する。 （外部講師）
第 4 回	テーマ：コミュニケーションと音楽活動 音楽を媒介にしたコミュニケーションについて実際の曲を使って検討する。 （外部講師）
第 5 回	テーマ：動きの発達を促す よいリズムで働きかけることと集中力、注意力の関係に着目して動きの発達を促進させることの重要性を検証する。 （外部講師）
第 6 回	テーマ：認知や社会性の発達 声を使い、社会性の発達を促す楽曲を知る。繰り返しのことば、コール・アンド・レスポンス、身近な生活の中の言葉を使った歌について検証する。
第 7 回	テーマ：言葉とコミュニケーションの発達を促す 言葉の始まりは、音の繰り返し遊びから始まり、やがて相互作用が生まれてコミュニケーションに発展していく過程を学び、実際の曲を用いて検証する。
第 8 回	テーマ：即興と合奏 美しく集団で楽しめる簡単な合奏曲を学ぶ。自由に楽器を鳴らす場面を設定することを考慮した楽曲作りをする。 （外部講師）
第 9 回	テーマ：セッションの組み方１ 音楽療育的な見地に立った曲の「始め」と「終わり」を丁寧に組み立てる方法を学ぶ、。その過程で季節の歌の扱い方を学ぶ。
第 10 回	テーマ：セッションの組み方 2 音楽療育にふさわしいリズム楽器による合奏曲について学ぶ。
第 11 回	テーマ：セッションの組み方３ 自然界の音や人の気持ちを楽器で表し、短いお話と組み合わせて共感し合える活動場面を作る。
第 12 回	テーマ：音楽を絵本と一体化させた音楽療育 繰り返しの言葉からリズムを感じ取り、音韻にふさわしい簡単な旋律を考えて絵本とともに楽しむ世界を知る。 （外部講師）
第 13 回	テーマ：ミュージックパネルで音楽に親しむ療育 幼児に親しみやすい簡略化された図形や毎日の生活の中で目にするものを題材に、繰り返しの音楽を基本とした「ミュージックパネル」について学ぶ。
第 14 回	テーマ：特別支援教育におけるこども音楽療育 音楽療育に対する保護者の願いを理解しする。その後、実際の音楽療育場面の録画映像を使って療育の流れを分析・精査する。 （外部講師）
第 15 回	テーマ：まとめ 振り返りを行い、後期の実習に向けて注意するべき点をまとめる。

テキスト	適宜プリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「静かな森のおおきな木」春秋社 「ユニバーサルデザインの音楽表現」萌文書林 「音楽で育てよう 子どものコミュニケーション・スキル」春秋社
課題に対するフィードバックの方法	授業内で課題とするレポートについてはコメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	こども一人ひとりに寄り添った保育を実践し、こどもの育ちを促す音楽の力を生かして授業の内容を実際の保育の場面で生かせるように、自分の得意な音楽の分野を磨いてください。音楽をとおしてこどもとのやりとりを楽しみ、こどもの発達を促すことができる保育者が今求められています。多様な障がいを理解し、障がいに寄り添う保育を実践するために様々な音楽のジャンルに目を向け、障がいと音楽という視点に立って視野を広めてください。